

浸炭・窒化処理の基礎と適用例、品質トラブルの具体的対策法

日時
2018年 4月10日（火）
10:30 ~ 16:30

税込受講料

1名 48,600円

2名以上1名 45,360円

案内図



飯田橋駅下車 各徒歩約5分
JR中央線（緩行線）
地下鉄東西線（A5出口）
地下鉄有楽町線・南北線（A4・B2a出口）
都営地下鉄大江戸線（A4出口）

<お申込要項>

- ・参加ご希望の方は、HP・E-mail・FAX 電話、何れかにてお申込ください。
- ・お申込に際し、社名・部署名・受講者名 住所・連絡先（TEL・FAX・E-mail）をお知らせください。
- ・お申込次第、受講票・請求書等を発送します。受講料のお支払は銀行振込・当日持参のいずれかをお願いします。
- ・受講料は講座後のお支払いも対応致します。（個人申込除く）
- ・開催日前14日以降のキャンセルは受けできません。
- ・受講者数が開催基準定員に満たない場合は中止になります。

会場 産業科学システムズ会議室（東京都千代田区富士見1-5-1）

本講座は、浸炭および窒化処理の基礎から適用例までをやさしく解説し、その種類とメカニズム、適用鋼種および用途などを紹介します。また、浸炭および窒化処理に要求される品質の確保につながるよう、これらの品質トラブルの現状と対策にも触れます。

講師 エア・ウォーター・NV株式会社 顧問 工学博士 富士川尚男氏
(元)住友金属工業 工学博士(東京工業大学)

プログラム

- ・表面改質・硬化処理の目的と意義
 - ・各種表面硬化処理法
 - ・表面硬化の主な特徴
 1. 表面硬化と摩耗
 2. 摩耗に及ぼす影響
 3. 疲労強度への影響
 - ・浸炭(Carburizing)とは
 1. 浸炭の材料側の基礎
 2. 浸炭処理の種類と適用鋼種・用途
 - a. 固体浸炭
 - b. 塩浴浸炭
 - c. ガス浸炭
 - d. 真空浸炭
 3. 浸炭ガス炉内反応
 4. 各浸炭処理法の詳細と特徴
 - ・窒化(Nitriding)とは
 1. 窒化処理の基礎
 2. 窒化処理の種類と適用鋼種・用途
 - a. 塩浴軟窒化
 - b. ガス窒化・軟窒化
 - c. プラズマ窒化
 - d. NV窒化
 3. 窒化のメカニズム
 - ・浸炭及び窒化処理の特長と欠点
 - ・金型への窒化処理例
 - ・複合(ハイブリッド)表面処理加工技術
 1. 浸炭焼入れ+ショットピーニング
 2. 浸炭焼入れ+高周波焼入れ
 3. 浸炭窒化焼入れ
 4. 浸窒焼入れ
 5. 窒化+PVD/DLC処理
 - ・新材料技術：低温浸炭と低温窒化
 1. 低温浸炭・窒化における拡張オーステナイト相(S相)の生成条件と特性
 2. 低温浸炭処理材の特性
 3. 低温窒化処理剤の特性
 4. 窒化+Cr拡散処理材の特性
 - ・浸炭及び窒化処理の要求品質
 1. 出来栄品質
 2. 品質トラブルとその対応
- 質疑応答【事前アンケートのご質問について解説致します】

お申込・お問合せは

主催 ISS 産業科学システムズ

TEL (03)3264-5635 FAX (03)3264-5675

<http://www.ebrain-j.jp/>

E-mail: education@ebrain-j.com

申込書 FAXは 03-3264-5675

講座参加申込書 浸炭・窒化処理の基礎と適用例、品質トラブルの具体的対策法

セミナーコード

1101-180410

太枠内をご記入の上FAX (03-3264-5675) してください。

2018/4/10 ISS

社名	所在地	〒	電話	()
No.	所属部課 (正式名称)	氏名	E-mail アドレス	-
			FAX	()
			お支払予定	当日ご持参 銀行振り込み
この講座をお知りになった媒体を○で囲んでください パンフ はがき Eメール ホームページ 検索サイト() その他				